

2021

コースガイド

空間演出デザインコース



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

空間演出デザインコースではまだ見ぬ豊かな生活空間の創造をめざしています。

空間も演出もそこに人がいて成立するものですから、「おもてなし」の気持ちを持ってデザインすることが大切です。デザインとは人のよろこびに繋がらなければ意味がありません。そのためにも、人と人、人と空間の繋がりに五感を駆使して取り組んでいきます。

人と人、人とモノの間（場）を計画する	「空間(場)のデザイン」
人と人の間に介在するモノを計画する	「モノのデザイン」
人やモノを取り巻く状況を計画する	「コトのデザイン」

この大きく3つの視点からあらゆる生活空間を創造しカタチにしていきます。

一方で、現代のデザイン領域は急速な広がりを見せています。空間に対する知識や感覚では捉えきれない周辺の領域との関係を多角的に見つめ直し、領域横断的にデザインする姿勢が重要になってきています。そのようなクロスオーバーな状況にも対応できる柔軟性を持った人材の育成を空間演出デザインコースでは目指しています。



あなたの思考を探求してオリジナリティを発掘し、技術の修得を通してクオリティを磨き、実践を重ねてアクティビティを獲得した先に、未来のライフスタイルの創出を目指していきます。

一時的な流行に左右されない豊かな生活空間をデザインしましょう。

目次

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって……………	2
2. [在学生のみなさんへ] 2021年度からの変更事項と注意点……………	3
3. 学習を進めるにあたって……………	4
4. 専門教育科目一覧……………	5
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	6
6. カリキュラムマップ……………	8
7. 履修条件図……………	10
8. スクーリング日程表……………	12
9. 履修モデル……………	14
10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX) ……………	18
11. 専門演習スクーリング科目 (S) ……………	22
12. 学部共通専門教育科目 (TR) ……………	25
13. パソコンとソフトウェア……………	26
14. 制作に必要な道具……………	28
15. 資格取得……………	30
16. 学習支援情報……………	31

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修計画をたて学習をすすめることが重要です。

入学許可後は、『学習ガイド』やシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって

●ご挨拶

ご入学おめでとうございます。空間演出デザインコースへようこそ。

これから新たな目標と希望を抱いて様々な学習に挑戦されることと思います。デザインを学ぼうと志を得て飛び込まれたのですから、大いに学生気分になり、「しる」「かんじる」「つくる」ことに貪欲になってください。我々研究室のスタッフも皆さんとともに併走していきますので、卒業というゴールに向けて一緒に頑張りましょう。

●まずは「airU マイページ」にアクセスしよう

空間演出デザインコースでは、テキスト科目、スクーリング科目ともに学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習に取り組みます。課題の提出やシラバス等の教材の閲覧はもちろん、通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

airUキャンパス <https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/>

空間演出デザインコースサイト <https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/space/>

「airUキャンパス」「コースサイト」の入口も「airUマイページ」にあります。

▶詳細は『学習ガイド』pp.15～16および本書pp.32～33参照。

●「新入生ガイダンス」、そして「空間演出デザイン概論（スターター）」に出席しよう

「新入生ガイダンス」（4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催。後日ガイダンス動画公開予定）に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を深めましょう。また、5月のスクーリング「空間演出デザイン概論（スターター）」では、新入生の方に向けたコース専門演習科目（とくにテキスト科目）の進め方や各種道具の使い方など、自宅学習を進めるためのオリエンテーションを行います。尚、この「空間演出デザイン概論」は遠隔授業のスクーリング科目ですので、オンラインで受講することで単位認定されます。必修科目ではありませんが、入学後の自宅学習のリズムをつかむためにも、受講されることをお勧めします。「空間演出デザイン概論」は事前申込制です。日程は本書pp.12～13のスクーリング日程表を、申込方法は『学習ガイド2021』pp.50～54を確認してください。

●「履修モデル」を参考に履修計画をたてよう

まず始めに、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」で卒業要件を確認しましょう。

次に何年かけて卒業するかを考えてみましょう。それにより、1年間で修得する単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことも念頭におきながら、卒業までの履修計画を作成されることをお勧めします。

本書pp.14～17の「履修モデル」は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や資格取得の有無、学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

●卒業へ向けての第一関門「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」（▶本書p.6参照）を満たしていることが必要となります。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

1年次入学生の場合 ：2023年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

3年次編入学生の場合 ：2021年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

※「卒業制作着手要件」の詳細は本書p.6を参照してください。

2. [在学生のみなさんへ] 2021年度からの変更事項と注意点

2021年度からの空間演出デザインコースでの学習における大きな変更点を以下に記載します。その他にも変更点はありますので『学習ガイド』もあわせて確認してください。

●3年次スクーリング科目7単位目以降の履修制度廃止について

3年次スクーリング科目「空間演出デザインV-1～V-10」では、選択必修6単位合格後に7単位目以降の履修が可能でしたが、事前にお知らせしていました通り、本制度は2021年度より廃止となりました。

●スクーリング科目の遠隔化について

下記科目については、2021年度より新たにZOOMによる遠隔授業を取り入れます。

それぞれの科目の日程および開講形態の詳細についてはシラバス2021および本書pp.12～13を確認してください。

【遠隔開講を選択可能】

- ・「空間演出デザイン概論（スターター）」
- ・「空間演出デザインⅠ-1（デザインリテラシー）」
- ・「空間演出デザインⅠ-2（ドラフティング）」
- ・「空間演出デザインⅠ-3（モデル・メイキング）」
- ・「空間演出デザインⅡ-1（デジタル表現基礎）」
- ・「空間演出デザインⅡ-2（造形表現基礎）」
- ・「空間演出デザインⅡ-3（CAD表現基礎2D）」
- ・「空間演出デザインⅢ-1（空間構想・エスキス）」
- ・「空間演出デザインⅢ-2（空間構想・デザインプロセス）」

【遠隔授業のみ】

- ・「空間演出デザイン概論（スターター）」
- ・「空間演出デザインV-1（すまいの空間構想）」
- ・「空間演出デザインV-5（デザインマネジメント）」

【一部遠隔開講】

- ・「卒業制作1（後半）」
- ・「卒業制作5（後半）」

●コース専門教育科目における添削指導評価方法について

2021年度より、コース専門教育科目（TW/TX）に限り、郵送・窓口受付の場合であってもairUマイページ上で評価と講評を公開いたします。ただし「テキスト科目添削指導評価書」は今まで通り課題に添付し提出ください。（詳細はシラバス2021「初回提出物」欄参照。）

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

1. 履修形態 ▶『学習ガイド』pp.11～13参照

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間 ▶『学習ガイド』p.11、pp.32～64参照

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～31		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～21	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2022年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12～(開講30～5 日前)		夏期追加募集 10～(開講30～5 日前)		秋期追加募集 10～(開講30～5 日前)			冬期追加募集 10～(開講30～5 日前)				
GS	藝術学舎科目		夏季申込 5月初旬～			秋季申込 8月初旬～			冬季申込 11月初旬～			2022年度 春季申込 2月中旬～	

・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間は『学習ガイド』pp.41～42を参照してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を満たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。

詳細は『学習ガイド』p.68を確認してください。

※東京オリンピック・パラリンピック開催期間中は、一部地域において郵便・配達等の遅れが生じる場合があります。

3. 課題提出方法 ▶『学習ガイド』pp.33～36参照

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験 ▶『学習ガイド』pp.40～45参照

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）と対面（京都・東京）で受験できます。なお、レポート課題提出形態によって、受験方法が異なり、airUマイページでレポートを提出した場合はWeb受験、郵送・窓口でレポートを提出した場合はWebまたは対面どちらかで受験します。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル ▶『学習ガイド』pp.49～56参照

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日以内にairUマイページまたは郵送・窓口より手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目 ▶『学習ガイド』p.65参照

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関しては『学習ガイド』pp.70～72を確認してください。

4. 専門教育科目一覧

卒業要件等に関しては、まず本書pp.6～7をお読みください。
編入学生の卒業要件は「入学許可証・卒業要件通知」で必ず確認してください。

科目一覧						卒業要件		配当年次 (注1)	
科目群	科目区分	科目コード	科目名	単位数	S ／ T	1年次入学	3年次編入学		
						124単位以上 (S科目30単位以上)	62単位以上 (専門60単位以上) (注2)		
専門教育科目	学部共通専門教育科目	40650	建築環境工学	2	TR	建	建	1年次～	
		40651	建築設備	2	TR	建	建		
		40653	建築生産	2	TR	建	建		
		40654	建築法規	2	TR	建	建		
		40655	構造力学1	2	TR	建	建		
		40656	構造力学2	2	TR	建	建		
		40678	マーケティング概論 (注3)	2	TR	● (注3)	● (注3)		
		40679	ブランディングデザイン論 (注3)	2	TR	● (注3)	● (注3)		
		40680	インテリア計画論1	2	TR	●	●		
		40681	インテリア計画論2	2	TR	●	●		
		40682	空間構成材料	2	TR	●	●		
		40683	生活空間デザイン史	2	TR	●	●		
	合 計					12単位以上	12単位以上		
	コース専門演習T科目	74601	デザイン基礎1 (空間演出デザイン)	2	TW	●	●	1年次～	
		74602	デザイン基礎2 (空間演出デザイン)	2	TW	●	●		
		74605	空間演出デザイン演習Ⅰ-1	2	TW	●	●		
		74606	空間演出デザイン演習Ⅰ-2	2	TW	●	●		
		74603	空間演出デザイン基礎1	2	TW	●	●	2年次～	
		74604	空間演出デザイン基礎2	2	TW	●	●		
		74607	空間演出デザイン演習Ⅱ-1	2	TW	●	●		
		74608	空間演出デザイン演習Ⅱ-2	2	TW	●	●		
		74609	空間演出デザイン演習Ⅲ-1	2	TW	●	●	3年次～	
		74610	空間演出デザイン演習Ⅲ-2	2	TW	●	●		
		74611	空間演出デザイン演習Ⅳ	4	TX	●	●	4年次	
		合 計					24単位以上	24単位以上	
		コース専門演習S科目	74100	空間演出デザイン概論 (注4)	1	S	(注4)	(注4)	1年次～
			74101	空間演出デザインⅠ-1	1	S	●	●	
			74102	空間演出デザインⅠ-2	1	S	●	●	
			74103	空間演出デザインⅠ-3	1	S	●	●	
			74104	空間演出デザインⅡ-1	1	S	●	●	
			74105	空間演出デザインⅡ-2	1	S	●	●	
			74106	空間演出デザインⅡ-3	1	S	●	●	2年次～
			74107	空間演出デザインⅢ-1	1	S	●	●	
			74108	空間演出デザインⅢ-2	1	S	●	●	
			74109	空間演出デザインⅢ-3	1	S	●	●	
			74110	空間演出デザインⅣ-1	1	S	●	●	
74111			空間演出デザインⅣ-2	1	S	●	●		
74112			空間演出デザインⅣ-3	1	S	●	●	3年次～	
74113			空間演出デザインⅤ-1	1	S	いずれか6科目を選択必修			
74114			空間演出デザインⅤ-2	1	S				
74115			空間演出デザインⅤ-3	1	S				
74116	空間演出デザインⅤ-4		1	S					
74117	空間演出デザインⅤ-5		1	S					
74118	空間演出デザインⅤ-6		1	S					
74119	空間演出デザインⅤ-7		1	S					
74120	空間演出デザインⅤ-8	1	S						
74121	空間演出デザインⅤ-9	1	S						
74122	空間演出デザインⅤ-10	1	S						
74191	卒業制作 (空間演出デザイン)	6	S	●	●	4年次			
合 計					24単位以上	24単位以上			
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目 (必修以外の科目)、資格関連科目などから自由に選択。								
総合計						124単位以上	62単位以上		

〈凡例〉 TR：テキストレポート科目、TW：テキスト作品科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目、●：必修科目

(注1) 配当年次は履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に別途、履修条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

(注2) 2016年度以前入学の2年次編入学生 (卒業要件が84単位以上) の必修科目は「3年次編入学 (62単位以上)」の欄を参照ください。

(注3) 2017年度からの新規科目。2016年度まで開講の「マーケティング論 (4単位)」と新旧対応科目。2016年度までに「マーケティング論」を単位修得済みの方は履修不可。

(注4) 「空間演出デザイン概論」は2017年度からの新規科目。新入生対象のガイダンス的な授業です。必修ではありませんが、入学後、まず受講されることをお勧めします。2016年度まで開講のテキスト科目「空間演出デザイン概論」とは別の科目です。

(注5) 建：二級建築士資格取得のための科目。二級建築士受験資格と免許登録資格をともに取得する場合と、受験資格のみを取得する場合で履修が必要な科目は異なります。詳細は本書p.30を参照。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」（下記【1】）を満たせば卒業年度前半のスクーリング「卒業制作1、2」が受講でき、秋期スクーリング申込の所定の時期（下記【3】）までに「卒業制作3～6の履修の前提条件」（下記【2】）を満たせば「卒業制作3～6」が受講できます。受講申込時期は「卒業制作1、2」が春期（2021/3/26～3/30）、「卒業制作3～6」が秋期（下記【3】）です。なお、「卒業制作1～6」は同一会場での受講を原則とします。

- ・「卒業制作3～6の履修の前提条件」を卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに前提条件を満たすことをお勧めします。
- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2021年度卒業予定者のスケジュール等は『学習ガイド2021』pp.68～69「10. 卒業判定」を参照してください。

【1】卒業制作着手要件

入学区分（卒業要件） （注1）	科目群	修得すべき 単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
1年次入学 （124単位以上）	学部共通専門教育科目	8単位以上	（注3）
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン基礎1・2」「空間演出デザイン演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「空間演出デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	（注2）	
	合計	90単位以上	3年以上在学していること（休学期間を除く）
3年次編入学 （62単位以上）	学部共通専門教育科目	8単位以上	（注3）
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン基礎1・2」「空間演出デザイン演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「空間演出デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	（注2）	
	合計	36単位以上	1年以上在学していること（休学期間を除く）

【2】「卒業制作3～6」の履修の前提条件

入学区分（卒業要件）	科目群	科 目
全て	コース専門演習T科目	「空間演出デザイン演習Ⅲ-1、Ⅲ-2」合格済み
	コース専門演習S科目	「空間演出デザインV-1～10」から6つ以上合格済み
		「卒業制作1、2」を履修中

【3】「卒業制作3～6」受講申込時期と履修の前提条件の合格時期

【2】の条件を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作3～6」が申込できます（本科目の「追加募集」に定員漏れはありません）。なお、8月下旬から9月度までのスクーリングで条件を満たす場合は9/28（火）の13：00より申込可能となります。

スクーリング開催回	申込時期		テキスト科目の合格期日	スクーリング科目の合格期日	
	(郵送は必着、Webは13:00まで)		空間演出デザイン演習Ⅲ-1、 空間演出デザイン演習Ⅲ-2	「空間演出デザインV-1～10」 から6つ以上	卒業制作 1、2
秋期 (10～12月開講)	先行	8/17 (火) ～ 8/25 (水)	7月度 (7/20 【必着】) までに提出の課題が合格済み	7月末までに合格済み	履修中
	追加	9/10 (金) ～ 10/4 (月) (※)	8月度 (8/20 【必着】) までに提出の課題が合格済み	9月末までに合格済み (※)	

（※）「空間演出デザインV-1～6」を8月下旬から9月に受講した場合は、スクーリングの成績が9月末に確定するため、9/28（火）13：00以降に「卒業制作3～6」の申込みが可能となります。

【4】卒業制作の単位認定と「空間演出デザイン演習Ⅳ」の提出期間

卒業制作はTX科目「空間演出デザイン演習Ⅳ」（4単位）とスクーリング科目「卒業制作1～6」（6単位）を一括認定します。したがって、課題の1つあるいはスクーリングの1つでも合格できなければどちらの科目も単位認定はできません。

「空間演出デザイン演習Ⅳ」（4単位）第1課題の提出期間は10月度（10/11（月・祝）～10/20（水）【必着】）、第2課題の提出期間は2月度（2/1（火）～2/5（土）【必着】）です。提出期間に留意して計画的に学習を進めてください。

2. 卒業要件について

2021年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「空間演出デザイン演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月度の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。

入学区分（卒業要件） （注1）	科目群	修得すべき単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
1年次入学 （124単位以上）	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	（注3）
	コース専門演習T科目	24単位以上	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「空間演出デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「卒業制作」必修、 「空間演出デザインⅤ-1～10」から6科目選択必修
	その他	（注2）	
	合計	124単位以上	S科目30単位以上
3年次編入学 （62単位以上）	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	（注3）
	コース専門演習T科目	24単位以上	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「空間演出デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「卒業制作」必修、 「空間演出デザインⅤ-1～10」から6科目選択必修
	その他	（注2）	
	合計	62単位以上	

編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」を確認してください。

（注1）2016年度以前入学の2年次編入学（卒業要件84単位以上）の卒業要件、卒業制作着手要件は、3年次編入学（卒業要件62単位以上）に同じ。ただし、卒業要件では合計が84単位以上あること、3年以上在学していること（休学期間を除く）。卒業制作着手要件では合計が40単位以上（※1）あること、2年以上在学していること（休学期間を除く）。

（※1）2年次編入学（卒業要件84単位以上）の皆さんは、2022年度卒業制作着手の要件（2021年度末までに取得すべき単位数）より合計単位数が「40単位以上」から「50単位以上」に変更となります。

（注2）「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・T科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

（注3）卒業制作着手要件では、「マーケティング概論+ブランディングデザイン論 または マーケティング論（※2）」、「インテリア計画論1」、「生活空間デザイン史」の8単位が必修。卒業要件では「インテリア計画論2」、「空間構成材料」を含む12単位が必修。

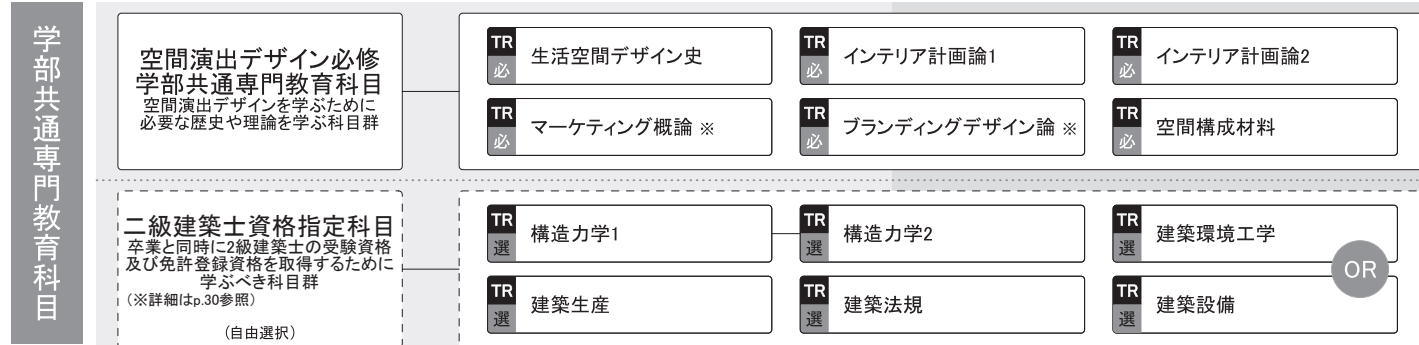
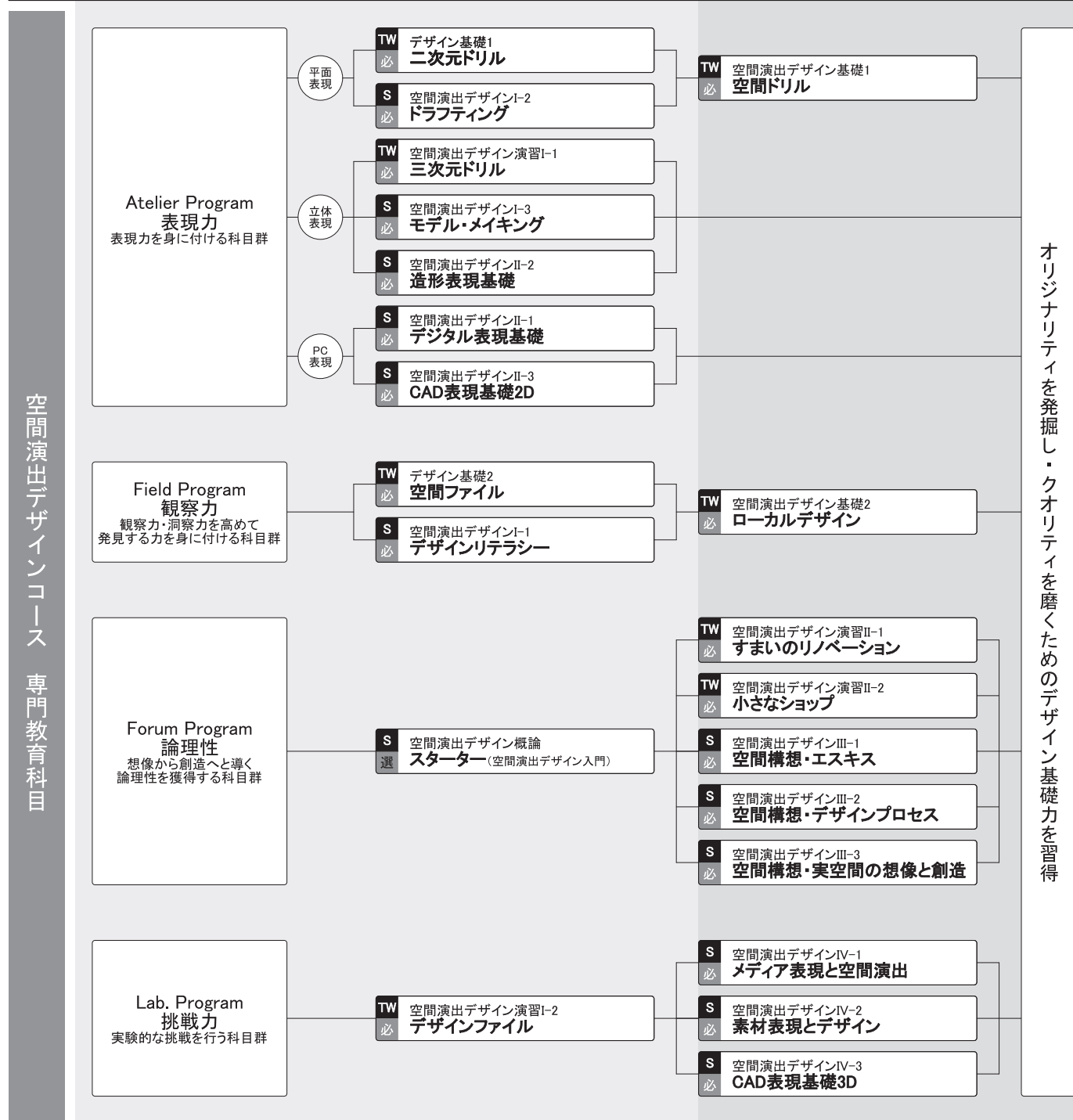
（※2）2016年度までに「マーケティング論（4単位）」を単位修得済みの方は「マーケティング概論」「ブランディングデザイン論」を履修することはできません。

6. カリキュラムマップ カリキュラムの内容と関連性

卒業までに身に付けるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関連性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系性が俯瞰できる図です。履修計画の参考にしてください。

1年次 デザインの基礎力を習得し、
デザインの楽しさ・魅力を発見する

2年次 空間をデザインする手法と
考え方を学ぶ



3年次

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用法を学ぶ

4年次

それぞれのおもてなしのデザインを提案し、他者へ伝える

6つの実践する力を養う

企画提案

計画管理

協働

発信

行動

改革

TW 空間演出デザイン演習Ⅲ-1
必 五感の空間デザイン
A カフェのプロデュース 空間

TW 空間演出デザイン演習Ⅲ-2
必 おもてなしのデザイン
A 空間(場)のデザイン 空間

S 空間演出デザインV-1
選 すまいの空間構想 空間

S 空間演出デザインV-2
選 ショップデザイン 空間

S 空間演出デザインV-3
選 ライティングデザイン 空間

S 空間演出デザインV-4
選 エキシビションデザイン 空間

TW 空間演出デザイン演習Ⅲ-1
必 五感の空間デザイン
B アフタヌーンティー・フアンチャー モノ

TW 空間演出デザイン演習Ⅲ-2
必 おもてなしのデザイン
B モノのデザイン モノ

S 空間演出デザインV-7
選 伝統とプロダクトデザイン モノ

S 空間演出デザインV-8
選 コンテンポラリー・ジュエリー モノ

S 空間演出デザインV-9
選 コンパクトデザイン モノ

S 空間演出デザインV-10
選 あかりのデザイン モノ

TW 空間演出デザイン演習Ⅲ-2
必 おもてなしのデザイン
C コトのデザイン コト

S 空間演出デザインV-5
選 デザインマネジメント コト

S 空間演出デザインV-6
選 空間体験のデザイン コト

空間・モノ・コトの視点をもって領域横断的なアクティビティを獲得

学びの集大成として社会に向けたおもてなしのデザイン提案に挑戦する

TX 空間演出デザイン演習Ⅳ
必 第1課題 卒業制作研究ノート
第2課題 ファイナルプレゼンテーション

S 卒業制作1~6
必 テーマ審査、中間審査、最終審査

未来のライフスタイルを創出するデザイン提案へ

※2016年度までに旧科目「マーケティング論」を単位修得済の方は履修することができません。

7. 履修条件図

テキスト作品科目 (TW・TX科目)

スクーリング科目 (S科目)

テキストレポート科目 (TR科目)

1 年次

デザインの基礎力を習得し、デザインの楽しさ・魅力を発見する

3年次編入学生 1 年目

2 年次

空間をデザインする手法と考え方を学ぶ

☐ デザイン基礎 1 二次元ドリル 平面デザイン基礎 Atelier Program	☐ 空間演出デザイン演習 I-1 三次元ドリル 立体デザイン基礎 Atelier Program
☐ デザイン基礎 2 空間ファイル 空間の魅力発見 Field Program	☐ 空間演出デザイン演習 I-2 デザインファイル デザインの魅力発見 Lab. Program

☐ 空間演出デザイン基礎 1 空間ドリル 図面表現の拡張 Atelier Program	☐ 空間演出デザイン演習 II-1 すまいのリノベーション 住空間のデザイン Forum Program
☐ 空間演出デザイン基礎 2 ローカルデザイン 地域特性とデザイン Field Program	☐ 空間演出デザイン演習 II-2 小さなショップ 商業空間のデザイン Forum Program

※学びのスタートアップ科目です。
選択科目ですが、新入生の受講を推奨します。

☒ 空間演出デザイン概論 **スターター** (空間演出デザイン入門)

遠隔のみ

- ☐ 必修科目
- ☒ 選択必修科目
- ☒ 自由選択科目

卒業制作着手要件

次の年度に卒業制作に着手するために
年度末までにクリアする必要がある要件。

☐ 空間演出デザイン I-1 E デザインリテラシー デザインの可能性 Field Program	☐ 空間演出デザイン II-1 E デジタル表現基礎 デジタルデザイン Atelier Program
☐ 空間演出デザイン I-2 E ドラフティング 製図の基礎 Atelier Program	☐ 空間演出デザイン II-2 E 造形表現基礎 デザイン基礎表現 Atelier Program
☐ 空間演出デザイン I-3 E モデル・メイキング 模型の基礎 Atelier Program	☐ 空間演出デザイン II-3 E CAD表現基礎 2D CAD製図基礎 Atelier Program

E スクーリング対面授業と遠隔授業が選べます。

☐ 空間演出デザイン III-1 E 空間構想・エスキス 空間デザイン手法1 Forum Program	☐ 空間演出デザイン IV-1 メディア表現と空間演出 演出表現の構想 Lab. Program
☐ 空間演出デザイン III-2 E 空間構想・デザインプロセス 空間デザイン手法2 Forum Program	☐ 空間演出デザイン IV-2 素材表現とデザイン 素材とデザイン Lab. Program
☐ 空間演出デザイン III-3 空間構想・実空間の想像と創造 実寸での空間構想 Forum Program	☐ 空間演出デザイン IV-3 CAD表現基礎 3D 3Dモデリング基礎 Lab. Program

E スクーリング対面授業と遠隔授業が選べます。

☐ 生活空間デザイン史	☐ インテリア計画論 1	☐ マーケティング概論	※	☐ ブランディングデザイン論
------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	---	---------------------------------------

※2016 年度までに旧科目「マーケティング論」を単位修得済みの方は
この 2 科目を履修する必要はありません。

☒ 二級建築士資格指定科目 (※詳細は本書 p.30 参照)	☒ 構造力学 1	☒ 構造力学 2	☒ 建築法規
---	--	--	--

■デザイン基礎課程の1・2年次科目では4つのプログラムに取り組み、デザイン基礎力を獲得し定着させます。
自身のオリジナリティを発掘し、クオリティに磨きをかけます。

Atelier Program **表現力** | 表現技術、記録術、デジタル術

Field Program **観察力・洞察力** | 発見力、観察力、調査・取材力、状況把握・分析力

Forum Program **論理性** | 構想力、編集力

Lab. Program **挑戦力** | 好奇心、幅広い知識・教養

…卒業に必要なコース専門科目(合計60単位・必修)

…ぜひ受けて欲しいコース専門科目(1単位・選択)

…二級建築士受験資格取得に必要な科目(合計10単位・選択)

3 年次

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用法を学ぶ

3年次編入学生2年目

4 年次

それぞれのおもてなしのデザインを提案し、他者へ伝える

着

★

★印の2年次TW科目を合格すると申込可

着

★

☐ 空間演出デザイン演習 III-1
五感の空間デザイン
※A,Bから選択

A カフェのプロデュース

B アフタヌーンティー・ファニチャー

☐ 空間演出デザイン演習 III-2
おもてなしのデザイン
※A,B,Cから選択

A 空間(場)のデザイン

B モノのデザイン

C コトのデザイン

★★

空間演出デザインV-1～V-10
 以下から6科目を選択履修

☒ 空間演出デザインV-1
 すまいの空間構想

☒ 空間演出デザインV-2
 ショップデザイン

☒ 空間演出デザインV-3
 ライティングデザイン

☒ 空間演出デザインV-4
 エキシビションデザイン

☒ 空間演出デザインV-5
 デザインマネジメント

☒ 空間演出デザインV-6
 空間体験のデザイン

☒ 空間演出デザインV-7
 伝統とプロダクトデザイン

☒ 空間演出デザインV-8
 コンテンポラリー・ジュエリー

☒ 空間演出デザインV-9
 コンパクトデザイン

☒ 空間演出デザインV-10
 あかりのデザイン

「卒業制作3～6」の履修の前提条件のクリア(★★印の3年次TW2科目とS6科目、卒業制作1,2を合格)

合格後
4年次TX科目へ

☐ 空間演出デザイン演習IV
 第1課題
 卒業制作研究ノート

合格後&卒業制作4「中間審査」受講後
 第2課題
 ファイナルプレゼンテーション

卒業制作着手要件のクリア

着

☐ 卒業制作・前期
 卒業制作 1

卒業制作 2 「テーマ審査」

「卒業制作3～6」の履修の前提条件のクリア(★★印の3年次TW2科目とS6科目、卒業制作1,2を合格)

☐ 卒業制作・後期
 卒業制作 3

卒業制作 4 「中間審査」

卒業制作 5

卒業制作 6 「最終審査」

E 1日間の対面スクリーングと遠隔授業で構成されています。

☐ インテリア計画論 2

☐ 空間構成材料

☒ 建築生産

☒ 建築環境工学 もしくは ☒ 建築設備

(いずれか1科目を選択)

二級建築士資格の取得希望者は卒業迄に単位取得する必要があります。
 (※詳細は本書 p.30 参照)

■専門デザイン課程の3年次では選択制で様々なデザイン領域に触れながら、以下の6つの実践を通じてアクティビティを獲得します。

企画 提案	計画 管理	協働
発信	行動	改革

■4年次卒業制作では以下のような内容から各自でテーマを設定し成果を発信します。

空間(場)づくり

インテリアデザイン、建築デザイン
展示デザイン、ディスプレイデザイン

モノづくり

雑貨、グッズデザイン、家具デザイン
インテリアプロダクトデザイン、照明デザイン

コトづくり

ブランディングデザイン、コミュニティデザイン
ソーシャルデザイン、プロジェクトデザイン

8. スクーリング日程表

申込期間	日程	【選択科目】空間演出概論 空間演出デザインⅠ-1～Ⅱ-3 (6単位必修)			空間演出デザインⅢ-1～Ⅳ-3 (6単位必修)		
		1年次配当			2年次配当		
		京都	東京	遠隔	京都	東京	遠隔
春期 (4・5・6月) 3/26～3/30	4/17(土)～4/18(日)						
	4/24(土)～4/25(日)						
	5/15(土)～5/16(日)			空間演出デザイン概論E1 スターター			
	5/22(土)～5/23(日)			空間演出デザイン概論E2 スターター			
	5/29(土)～5/30(日)	I-1K デザインリテラシー					
	6/5(土)～6/6(日)		I-1T デザインリテラシー				
	6/12(土)～6/13(日)	I-2K ドラフティング					
	6/19(土)～6/20(日)		I-2T ドラフティング				
	6/26(土)～6/27(日)			I-1E デザインリテラシー			
夏期 (7・8・9月) 5/17～5/25	7/3(土)～7/4(日)	I-3K モデル・メイキング					
	7/10(土)～7/11(日)		I-3T モデル・メイキング				
	7/17(土)～7/18(日)			I-2E ドラフティング			
	7/24(土)～7/25(日)				IV-1K メディア表現と空間演出		
	7/31(土)～8/1(日)			I-3E モデル・メイキング			
	8/7(土)～8/8(日)	II-1K デジタル表現基礎					
	8/21(土)～8/22(日)			II-1E デジタル表現基礎			
	8/28(土)～8/29(日)		II-1T デジタル表現基礎				
	9/4(土)～9/5(日)	II-2K 造形表現基礎					
	9/11(土)～9/12(日)		II-2T 造形表現基礎				
	9/18(土)～9/19(日)						
	9/25(土)～9/26(日)			II-2E 造形表現基礎			
秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25	10/2(土)～10/3(日)				III-1T 空間構想・エスキス		III-1E 空間構想・エスキス (※3)
	10/9(土)～10/10(日)				IV-2K 素材表現とデザイン		
	10/16(土)～10/17(日)						
	10/23(土)～10/24(日)				III-1K 空間構想・エスキス		
	10/30(土)～10/31(日)					III-2T 空間構想・デザインプロセス	
	11/6(土)～11/7(日)	II-3K CAD表現基礎2D					
	11/13(土)～11/14(日)		II-3T CAD表現基礎2D				
	11/20(土)～11/21(日)				III-3K 空間構想・実空間の想像と創造		
	11/27(土)～11/28(日)					III-3T 空間構想・実空間の想像と創造	
	12/4(土)～12/5(日)			II-3E CAD表現基礎2D			
	12/11(土)～12/12(日)				IV-3K CAD表現基礎3D		
	12/18(土)～12/19(日)					IV-3T CAD表現基礎3D	
	12/25(土)～12/26(日)						
冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25	1/8(土)～1/9(日)					IV-2T 素材表現とデザイン	III-2E 空間構想・デザイン プロセス (※3)
	1/22(土)～1/23(日)						
	2/19(土)～2/20(日)				III-2K 空間構想・デザインプロセス		
	2/26(土)～2/27(日)					IV-1T メディア表現と空間演出	

〈補足〉

空間演出デザイン概論（スターター）【選択科目】	コース専門教育テキスト科目の進め方について解説と演習を行う授業。 新入生向けの導入授業となりますので、できるだけ受講してください。
-------------------------	--

- ・ airU申込みは申込締切日13:00まで。郵送申込は申込締切日【必着】まで。
- ・ スターリングの各申込スケジュールは『学習ガイド』p.51をご確認ください。
- ・ 追加募集申込のスケジュールと空き状況はairUマイページで確認してください。

空間演出デザインⅤ-1～10 (6単位選択必修)			卒業制作			日程	申込期間
3年次配当			4年次配当				
京都	東京	遠隔	京都	東京	遠隔		
			卒業製作1K (前半) 4/17 (土) のみ ※1	卒業製作1T (前半) 4/18 (日) のみ ※1		4/17(土)～4/18(日)	春期 (4・5・6月) 3/26～3/30
Ⅴ-2K ショップデザイン						4/24(土)～4/25(日)	
	Ⅴ-3T ライティングデザイン					5/15(土)～5/16(日)	
			「卒業制作1、2」の先行申込は、 3月27日(土)13:00～30日(火)13:00です。			5/22(土)～5/23(日)	
	Ⅴ-4T エキシビジョンデザイン					5/29(土)～5/30(日)	
		Ⅴ-1E1 すまいの空間構想				6/5(土)～6/6(日)	
					卒業制作1E (後半) 受講期間	6/12(土)～6/13(日)	
	Ⅴ-2T ショップデザイン					6/19(土)～6/20(日)	
		Ⅴ-5E1 デザインマネジメント				6/26(土)～6/27(日)	
Ⅴ-4K エキシビジョンデザイン						7/3(土)～7/4(日)	夏期 (7・8・9月) 5/17～5/25
		Ⅴ-5E2 デザインマネジメント				7/10(土)～7/11(日)	
				卒業製作2T ※1		7/17(土)～7/18(日)	
			卒業製作2K ※1			7/24(土)～7/25(日)	
						7/31(土)～8/1(日)	
Ⅴ-3K ライティングデザイン						8/7(土)～8/8(日)	
						8/21(土)～8/22(日)	
	Ⅴ-6T 空間体験のデザイン					8/28(土)～8/29(日)	
Ⅴ-6K 空間体験のデザイン						9/4(土)～9/5(日)	
						9/11(土)～9/12(日)	
		Ⅴ-1E2 すまいの空間構想				9/18(土)～9/19(日)	
						9/25(土)～9/26(日)	
						10/2(土)～10/3(日)	秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25
						10/9(土)～10/10(日)	
			卒業制作3K ※2	卒業制作3T ※2		10/16(土)～10/17(日)	
						10/23(土)～10/24(日)	
						10/30(土)～10/31(日)	
Ⅴ-7K 伝統とプロダクトデザイン			卒業制作4K (中間審査) ※2	卒業制作4T (中間審査) ※2		11/6(土)～11/7(日)	
						11/13(土)～11/14(日)	
						11/20(土)～11/21(日)	
						11/27(土)～11/28(日)	
			卒業制作5K (前半) 12/4 (土) のみ ※2	卒業制作5T (前半) 12/5 (日) のみ ※2		12/4(土)～12/5(日)	
						12/11(土)～12/12(日)	
						12/18(土)～12/19(日)	冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25
Ⅴ-8K コンテンツ・ジュエリー					卒業制作5E (後半) 受講期間 ※2	12/25(土)～12/26(日)	
						1/8(土)～1/9(日)	
Ⅴ-9K コンパクトデザイン			卒業制作6K (最終審査) ※2	卒業制作6T (最終審査) ※2		1/22(土)～1/23(日)	
						2/19(土)～2/20(日)	
Ⅴ-10K あかりのデザイン						2/26(土)～2/27(日)	

※1)「卒業制作1、2」は春期(4～6月)開講分の申込期間にて2科目をまとめて申し込み。

※2)「卒業制作3～6」は秋期(10～12月)開講分の申込期間にて4科目をまとめて申し込み。

※3)「空間演出デザインⅢ-1E(空間構想・エスキス)」は秋期に、「空間演出デザインⅢ-2E(空間構想・デザインプロセス)」は冬期に遠隔授業で実施予定です。

詳細はシラバスを確認してください。

9. 履修モデル

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランをたててみましょう。
※スクーリング日程は京都会場および遠隔授業のものです。

1年次入学生履修モデル（卒業要件124単位以上）

4年間で学習する場合

1 年目																
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※3)	ことばと表現 (※4)	1	TR					レポート		試験						
	論述基礎	2	TR								レポート		試験			
	情報	2	TR					レポート		試験						
	色彩と形	2	TR											レポート		試験
	映画研究への階段	1	S							2日間						
	伝統芸術基礎(文楽)	1	S									2日間				
学部共通専門 教育科目 (※3)	マーケティング概論	2	TR	●				レポート		試験						
	ブランディングデザイン論	2	TR	●							レポート		試験			
	生活空間デザイン史	2	TR	●										レポート		試験
	色彩表現基礎	2	TW											第1課題		
	デザイン基礎1(空間演出デザイン)	2	TW	●		第1課題										
	デザイン基礎2(空間演出デザイン)	2	TW	●							第1課題					
	空間演出デザイン演習Ⅰ-1	2	TW	●				第1課題								
	空間演出デザイン演習Ⅰ-2	2	TW	●								第1課題				
	空間演出デザイン概論	1	S			2日間										
	空間演出デザインⅠ-1	1	S	●		2日間										
	空間演出デザインⅠ-2	1	S	●			2日間									
	空間演出デザインⅠ-3	1	S	●				2日間								
	空間演出デザインⅡ-1	1	S	●					2日間							
	空間演出デザインⅡ-2	1	S	●						2日間						
	空間演出デザインⅡ-3	1	S	●								2日間				
1年目の修得単位数		32														

2 年目																
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※3)	地域を探索	2	TR					レポート		試験						
	伝統芸術基礎 (伝統芸能)	1	S											2日間		
	考古学への階段	1	S			2日間										
	学芸基礎講義1	1	GS				GS									
	学芸基礎講義2	1	GS									GS				
学部共通専門 教育科目 (※3)	写真論1	2	TR								レポート		試験			
	デザイン論1	2	TR											レポート		試験
	インテリア計画論1	2	TR	●	レポート		試験									
	インテリア計画論2	2	TR	●				レポート		試験						
	芸術史講義 (ヨーロッパ) 1	2	WS								動画 視聴	レポート	講評 視聴			
	芸術史講義 (近現代) 1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴									
	芸術史講義 (近現代) 2	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴						
	空間演出デザイン基礎1	2	TW	●		第1課題										
	空間演出デザイン基礎2	2	TW	●			第1課題									
	空間演出デザイン演習Ⅱ-1	2	TW	●							第1課題					
	空間演出デザイン演習Ⅱ-2	2	TW	●										第1課題		
	空間演出デザインⅢ-1	1	S	●							2日間					
	空間演出デザインⅢ-2	1	S	●											2日間	
	空間演出デザインⅢ-3	1	S	●								2日間				
	空間演出デザインⅣ-1	1	S	●				2日間								
	空間演出デザインⅣ-2	1	S	●							2日間					
	空間演出デザインⅣ-3	1	S	●									2日間			
2年目の修得単位数		34														

(※1) TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目 WS：ウェブスクーリング科目 S：スクーリング科目
GS：芸術学舎科目
(※2) ●＝必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○＝選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
(例えば「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つを選択し、必ず単位を修得すること等)
空白＝選択科目

3年目																	
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※3)		京都を学ぶ	2	TR		レポート		試験									
		東北を学ぶ	2	TR				レポート		試験							
		都市デザイン論	2	TR							レポート		試験				
		外国語1	2	TR										レポート		試験	
		メディア論への階段	1	S			2日間										
		学芸基礎演習1	1	GS												GS	
		学芸基礎講義3	1	GS								GS					
専門教育科目	学部共通専門 教育科目 (※3)	建築史1（近代）	2	TR							レポート		試験				
		空間構成材料	2	TR	●				レポート		試験						
		立体造形演習1	2	TW							第1課題						
		芸術史（ヨーロッパ）2	2	WS										動画 視聴	レポート	講評 視聴	
		芸術史講義（近現代）3	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴									
		著作権を学ぶ	1	S					2日間								
	コース 専門演習 T科目	空間演出デザイン演習Ⅲ-1	2	TW	●			第1課題									
		空間演出デザイン演習Ⅲ-2	2	TW	●					第1課題							
	コース 専門演習 S科目	空間演出デザインⅤ-1	1	S	○			2日間									
		空間演出デザインⅤ-2	1	S	○	2日間											
		空間演出デザインⅤ-3	1	S	○					2日間							
		空間演出デザインⅤ-4	1	S	○												
		空間演出デザインⅤ-5	1	S	○												
		空間演出デザインⅤ-6	1	S	○						2日間						
		空間演出デザインⅤ-7	1	S	○												
		空間演出デザインⅤ-8	1	S	○								2日間				
		空間演出デザインⅤ-9	1	S	○												
		空間演出デザインⅤ-10	1	S	○										2日間		
3年目の修得単位数			32	※翌年度、卒業制作に着手するためには、着手要件を満たす必要があります。													

4年目																
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期 (※5)		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※3)	文化研究1	2	TR					レポート		試験				卒業制作着手者は冬期に 卒業関連科目以外の履修 ができません。		
	文化研究2	2	TR		レポート		試験									
	都市環境への階段	1	S			2日間										
	自然学への階段	1	S								2日間					
専門教育科目	学部共通専門 教育科目 (※3)	デザイン論2	2	TR				レポート		試験						
		住宅概論	2	TR		レポート	試験									
		立体造形演習2	2	TW				第1課題								
		芸術史講義 (日本) 1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴								
		芸術史講義 (近現代) 4	2	WS				動画 視聴	レポート	講評 視聴						
	コース 専門演習 T科目	空間演出デザイン演習Ⅳ	4	TX	●						第1課題				第2課題	
		卒業制作	6	S	●	1日間		遠隔	2日間		2日間	2日間	1日間 + 遠隔	2日間		
	コース 専門演習 S科目															
4年目の修得単位数		26														

4年間の合計単位数	124	
-----------	-----	--

- (※3) 選択科目については一例です。『総合教育科目シラバス』『学部共通専門教育科目シラバス』『藝術学舎パンフレット』『airUマイページ』で単位数や履修条件等を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画をたててください。
二級建築士資格の取得を目指している方は資格取得のための指定科目を合格する必要があります。(▶本書 p.30 参照)
- (※4) レポート執筆がはじめての方へのおすすめ科目
- (※5) 卒業判定にかかる年度は卒業制作関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。年度当初から計画的な履修計画を立ててください。

3年次編入学生履修モデル (卒業要件62単位以上、専門60単位以上)

2年間で学習する場合

1 年目																
科目群・区分	科目名	単 位 数	履 修 形 態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※3)	論述基礎	2	TR					レポート		試験						
学部共通専門 教育科目	マーケティング概論	2	TR	●				レポート		試験						
	ブランディングデザイン論	2	TR	●							レポート		試験			
	生活空間デザイン史	2	TR	●							レポート		試験			
	インテリア計画論1	2	TR	●										レポート		試験
	デザイン基礎1 (空間演出デザイン)	2	TW	●		第1課題										
	デザイン基礎2 (空間演出デザイン)	2	TW	●				第1課題								
	空間演出デザイン演習Ⅰ-1	2	TW	●				第1課題								
	空間演出デザイン演習Ⅰ-2	2	TW	●				第1課題								
	空間演出デザイン基礎1	2	TW	●							第1課題					
	空間演出デザイン基礎2	2	TW	●										第1課題		
	空間演出デザイン演習Ⅱ-1	2	TW	●								第1課題				
	空間演出デザイン演習Ⅱ-2	2	TW	●										第1課題		
	空間演出デザイン概論	1	S			2日間										
	空間演出デザインⅠ-1	1	S	●		2日間										
	空間演出デザインⅠ-2	1	S	●			2日間									
	空間演出デザインⅠ-3	1	S	●				2日間								
	空間演出デザインⅡ-1	1	S	●				2日間								
	空間演出デザインⅡ-2	1	S	●					2日間							
	空間演出デザインⅡ-3	1	S	●								2日間				
	空間演出デザインⅢ-1	1	S	●							2日間					
	空間演出デザインⅢ-2	1	S	●											2日間	
	空間演出デザインⅢ-3	1	S	●								2日間				
	空間演出デザインⅣ-1	1	S	●				2日間								
	空間演出デザインⅣ-2	1	S	●							2日間					
	空間演出デザインⅣ-3	1	S	●									2日間			
1年目の修得単位数		39	※翌年度、卒業制作に着手するためには、着手要件を満たす必要があります。													

2 年目																
科目群・区分	科目名	単 位 数	履 修 形 態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期 (※4)			冬期 (※5)		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学部共通専門 教育科目	インテリア計画論2	2	TR	●	レポート		試験							卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。		
	空間構成材料	2	TR	●				レポート		試験						
	空間演出デザイン演習Ⅲ-1	2	TW	●	第1課題											
	空間演出デザイン演習Ⅲ-2	2	TW	●		第1課題									第2課題	
	空間演出デザイン演習Ⅳ	4	TX	●							第1課題					
	空間演出デザインⅤ-1	1	S	○			2日間							卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。		
	空間演出デザインⅤ-2	1	S	○	2日間											
	空間演出デザインⅤ-3	1	S	○					2日間							
	空間演出デザインⅤ-4	1	S	○				2日間								
	空間演出デザインⅤ-5	1	S	○			2日間									
	空間演出デザインⅤ-6	1	S	○					2日間							
	空間演出デザインⅤ-7	1	S	○						2日間						
	空間演出デザインⅤ-8	1	S	○												
	空間演出デザインⅤ-9	1	S	○												
	空間演出デザインⅤ-10	1	S	○												
	卒業制作	6	S	●	1日間		遠隔	2日間			2日間	2日間	1日間 + 遠隔	2日間		
2年目の修得単位数		24														

2年間の合計単位数	63
-----------	----

※1：TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目 WS：ウェブスクーリング科目 S：スクーリング科目

※2：●＝必修科目〈必ず単位を修得することが求められる科目〉

○＝選択必修科目〈特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目や授業を選択して必ず単位を修得することが求められる科目

(例えば、「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つを選択し必ず単位を修得すること等)

空白＝選択科目

※3：選択科目は一例です。

※4：卒業制作着手年度は「卒業制作3～6」の履修の前提条件として、コース専門演習T科目「空間演出デザイン演習Ⅲ-1、Ⅲ-2」を8月度までに提出の課題が合格済み。コース専門演習S科目「空間演出デザインⅤ-1～10」から6つ以上を9月末までに合格済みの必要があります。(▶本書pp.6～7参照)

※5：卒業判定にかかる年度は卒業制作関連科目以外の科目を冬期(1～3月)に履修することはできません。年度当初から計画的な履修計画を立ててください。

3年次編入学生履修モデル（卒業要件62単位以上、専門60単位以上）

二級建築士受験資格と免許登録資格をともに取得 2年間で学習する場合

1 年目																	
科目群・区分		科目名	単 位 数	履修 形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門 教育科目	学部共通専門 教育科目	建築法規	2	TR	建										レポート		試験
		構造力学1	2	TR	建										レポート		試験
		マーケティング概論	2	TR	●				レポート		試験						
		ブランディングデザイン論	2	TR	●				レポート		試験						
		生活空間デザイン史	2	TR	●							レポート		試験			
	インテリア計画論1	2	TR	●							レポート		試験				
	コース 専門演習 T科目	デザイン基礎1（空間演出デザイン）	2	TW	●		第1課題										
		デザイン基礎2（空間演出デザイン）	2	TW	●			第1課題									
		空間演出デザイン演習Ⅰ-1	2	TW	●			第1課題									
		空間演出デザイン演習Ⅰ-2	2	TW	●				第1課題								
		空間演出デザイン基礎1	2	TW	●						第1課題						
		空間演出デザイン基礎2	2	TW	●							第1課題					
		空間演出デザイン演習Ⅱ-1	2	TW	●						第1課題						
	空間演出デザイン演習Ⅱ-2	2	TW	●									第1課題				
	コース 専門演習 S科目	空間演出デザイン概論	1	S			2日間										
		空間演出デザインⅠ-1	1	S	●		2日間										
		空間演出デザインⅠ-2	1	S	●			2日間									
		空間演出デザインⅠ-3	1	S	●				2日間								
		空間演出デザインⅡ-1	1	S	●					2日間							
		空間演出デザインⅡ-2	1	S	●						2日間						
		空間演出デザインⅡ-3	1	S	●							2日間					
		空間演出デザインⅢ-1	1	S	●							2日間					
		空間演出デザインⅢ-2	1	S	●										2日間		
		空間演出デザインⅢ-3	1	S	●							2日間					
		空間演出デザインⅣ-1	1	S	●				2日間								
		空間演出デザインⅣ-2	1	S	●							2日間					
	空間演出デザインⅣ-3	1	S	●									2日間				
1年目の修得単位数		41	※翌年度、卒業制作に着手するためには、着手要件を満たす必要があります。														

2 年目																
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 選択 (※2)	春期			夏期			秋期（※3）			冬期（※4）		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	学部共通専門 教育科目	インテリア計画論2	2	TR	●	レポート		試験						卒業制作着手者は冬期に 卒業関連科目以外の履修 ができません。		
		空間構成材料	2	TR	●			レポート		試験						
		構造力学2	2	TR	建			レポート		試験						
		建築環境工学	2	TR	建	レポート		試験								
		建築生産	2	TR	建			レポート		試験						
	コース 専門演習 T科目	空間演出デザイン演習Ⅲ-1	2	TW	●	第1課題										
		空間演出デザイン演習Ⅲ-2	2	TW	●		第1課題									
		空間演出デザイン演習Ⅳ	4	TX	●						第1課題				第2課題	
	コース 専門演習 S科目	空間演出デザインⅤ-1	1	S	○		2日間							卒業制作着手者は冬期に 卒業関連科目以外の履修 ができません。		
		空間演出デザインⅤ-2	1	S	○	2日間										
		空間演出デザインⅤ-3	1	S	○			2日間								
		空間演出デザインⅤ-4	1	S	○				2日間							
		空間演出デザインⅤ-5	1	S	○		2日間									
		空間演出デザインⅤ-6	1	S	○				2日間							
		空間演出デザインⅤ-7	1	S	○											
		空間演出デザインⅤ-8	1	S	○											
		空間演出デザインⅤ-9	1	S	○											
		空間演出デザインⅤ-10	1	S	○											
	卒業制作		6	S	●	1日間		遠隔	2日間		2日間	2日間	1日間 + 遠隔	2日間		
2年目の修得単位数		30														

2年間の合計単位数

71

※1：TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目 WS：ウェブスクーリング科目 S：スクーリング科目

※2：●＝必修科目（必ず単位を修得することが求められる科目）

○＝選択必修科目（特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目や授業を選択して必ず単位を修得することが求められる科目（例えば、「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つを選択し必ず単位を修得すること等））

建＝二級建築士資格取得のための科目。二級建築士受験資格と免許登録資格をともに取得する場合と、受験資格のみを取得する場合で履修が必要な科目は異なります。詳細は本書p.30を参照。

空白＝選択科目

※3：卒業制作着手年度は「卒業制作3～6」の履修の前提条件として、コース専門演習T科目「空間演出デザイン演習Ⅲ-1、Ⅲ-2」を8月度までに提出の課題が合格済み。コース専門演習S科目「空間演出デザインⅤ-1～10」から6つ以上を9月末までに合格済みの必要があります。（▶本書pp.6～7参照）

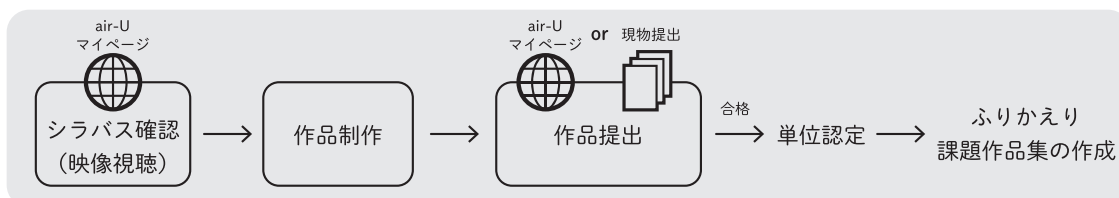
※4：卒業判定にかかる年度は卒業制作関連科目以外の科目を冬期（1～3月）に履修することはできません。年度当初から計画的な履修計画を立ててください。

10. 専門演習テキスト科目（TW・TX）

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、テキストや参考文献、提供されるWEB教材などをもとに学習し作品を完成させます。完成した作品を、airUマイページを使ってWebでデータ提出、もしくは実物を郵便・窓口へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば単位認定となります。添削文で受けた指導・講評をもとにブラッシュアップして課題作品集（※）にまとめておきましょう。

（※）課題作品集のまとめ方については、airUキャンパス>コースサイト>学習支援>卒業制作に必要となる「課題作品集の作り方」参照。



履修にあたってのルール

●履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能ですが、本書pp.10～11「履修条件図」の左上から順に履修することをお勧めします。

<テキスト科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	備考
1年次 〔4科目4課題〕	なし	4科目の中から、どれからでも履修可。 4科目の同時履修提出も可。
2年次 〔4科目4課題〕	1年次テキスト科目を 全て合格済みであること。	4科目の中から、どれからでも履修可。 4科目の同時履修提出も可。
3年次 〔2科目2課題〕	2年次テキスト科目を 全て合格済みであること。	2科目の同時履修提出も可。
4年次 〔1科目2課題〕	3年次テキスト科目を全て合格済みであり、 「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たしていること。	第1課題合格後、第2課題に着手可。

●提出の受付と返却の目安

●TW科目（1～3年次科目）の提出（本書p.4参照）

4月、5月、7月、8月、10月、11月、1月、2月の11日～20日【必着】※消印不可

- ・提出締切日が日・祝の場合、締切日はその翌日となります。（例）20日（日）→21日（月）
- ・airUマイページは当日13：00大学サーバー着信分まで
- ・窓口提出は当日窓口受付時間まで
- ・返却は提出年度の翌月中旬（10日～18日前後）をめどに行います。
- ・各提出期間の締切をわずかも過ぎてしまった場合は、次の提出期間での受け付けとなりますので注意してください。

●TX科目「空間演出デザイン演習Ⅳ」（4年次科目）の提出期間は本書p.7、およびairUマイページよりシラバスの該当ページを確認してください。返却は課題提出締切日の約25日後をめどに行います。

- ・提出は1回のみ。原則、課題の提出完了後の内容修正・差し替え・再提出はできませんので、内容を十分に確認した上で提出してください。

提出にあたって

●テキスト課題の提出物のルールを守る

空間演出デザインコース専門演習テキスト科目の提出物は科目ごとにルールが定められています。ルールを逸脱した提出物は評価対象外の扱いとされることがあり、その場合、翌提出期間以降に再度提出する必要が生じますので、各科目のシラバス記載事項をよく確認の上、特に以下の4点について不備が無いかに注意してください。

①体裁について

- ・実物を提出する際、提出用紙の書式やサイズ、紙質、枚数や縦横の使い方に指定がある場合は遵守すること。
- ・切り貼りしたままの状態のものは紙が剥がれて紛失することもありますので、切り貼り作業の完了後カラーコピーしたものを必ず提出すること。
- ・airUマイページ（Web）から提出する場合、作品はすべて指定の方法でデータ化しておくこと。

②表現方法

- ・各科目のシラバスに記載された表現方法で制作を行うこと。
- ・特に指定の無い場合は「PCでデジタル制作」「アナログで手描き制作」のいずれでも構わない。
- ・その他、指定や制限の無い範囲での表現は自由とします。

③著作権について

- ・各科目の履修に際しては『学習ガイド』pp.158～160の内容を確認し、著作権のルールとマナーを意識すること。

④剽窃、盗用について

- ・提出物に剽窃や盗用が認められた際は学生としてあるまじき行為として、当該年度の単位の無効など厳重な処分が下りる恐れがあります。『学習ガイド』pp.182～185の内容を確認すること。

●課題の提出方法

コース専門演習テキスト科目の課題提出方法は「(A) 作品の実物を郵送・窓口で提出」「(B) 作品データをairUマイページ（Web）から提出」の2通りがあります。それぞれの場合の提出にあたっての基本ルールは、『学習ガイド』pp.33～36及びairUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞各科目のシラバスにある「課題提出方法」を参照してください。

(A)「郵送・窓口」提出時の注意事項

- ・雨に濡れた際などの破損を防ぐため、作品はクリアファイル（クリアフォルダ）に入れること。
- ・クリアファイル（クリアフォルダ）本体に油性ペンで「学籍番号、氏名」を明記すること。
- ・大学指定の作品送付用大型封筒を使用すること。
- ・提出物の折り曲げは厳禁とする。
- ・その他、提出前の基本条件【提出作品の形態】、【表現方法】、【注意事項】についてはairUマイページにて各科目シラバスを参照すること。

(B)「airUマイページ (Web)」提出時の注意事項

airU学習ガイド>3.履修・学習>テキスト作品科目 (TW) の頁を参照し、airUマイページからの課題提出の手順と注意点を把握しておいてください。

提出するファイルの種類や形式などは以下のルールを必ず守ってください。注意事項が守られていない場合は、評価対象外となり次の提出期間に再提出していただくことになりますので、十分に注意してください。

なお、課題提出ページにある「キャプション欄」の記入は不要です。

①作品データはすべてPDF化してください

作品データの提出形式はPDF形式 (.pdf) に統一されています。例えば、提出ファイルや提出フォルダ (.zip) の中身がAutoCAD LTなどのソフトウェア固有のファイル形式 (.dwgなど) のままで、PDF (.pdf) のファイル形式に変換されていない場合は受付後であっても添削不可 (D評価) として返却します。また、PDF化したデータは必ず実際に出力して線の種類や色の使い分け、誤字脱字がないか確認してください。

②提出ファイルの形式と容量

提出ページを全て束ねたPDF形式 (.pdf ※推奨) または提出ファイルをフォルダにまとめて一括圧縮したZip形式 (.zip) ファイルで提出してください。その他の形式は受付後であっても評価対象外として扱います。1課題につきファイルは1つしか提出できません。また、圧縮したファイルの容量は20MB以下にすること。20MBを超過したファイルは提出できませんので、ファイル容量が大き過ぎる場合は、本書p.21に紹介する方法を試してみてください。

③ファイルの圧縮

ファイルの圧縮については、以下のいずれかの方法でおこなってください。

(A) Mac OS X (10.6以降) の場合は圧縮機能を利用

圧縮するフォルダを選択→「ファイル」メニューから「“フォルダ名”を圧縮」を実行します。

(B) Windowsの圧縮機能を利用

圧縮するフォルダを右クリックし→「送る」→「圧縮 (zip形式) フォルダ」を選択します。

④ファイル名の付け方

ファイル名は「学籍番号+拡張子」としてください。

例えばPDFファイルの場合は「34567890.pdf」、zipファイルの場合は「34567890.zip」となります。

⑤提出前にもう一度データを確認してください

提出ファイルの形式 (PDFまたはZip) と容量 (20MB以下) 以外の不備 (提出データの破損、PDF変換時のミス、ページ不足、Zip形式ファイルの中身がPDFファイルに変換されていない、中身が制作条件を満たしていない、誤って別科目の課題データを提出など) については添削不可 (D評価) となります。ファイルが問題なく開くことができるかどうか確認したうえで提出してください。

●課題提出時にトラブルが発生した場合

基本的にパソコンやインターネット等のトラブルによって課題提出が間に合わなかった場合でも例外的な受付措置はできません。自らトラブルの発生を防ぐ策を講じてください。万が一、締切期限の間際にトラブルが生じた場合は質問専用メールアドレス (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) 宛に締切日当日の13:00までに具体的なトラブル内容を報告してください。トラブル内容を正確に把握するため、電話での連絡は受け付けていません。必ずメールにて連絡してください。

●参考作品としての使用について

提出物を参考作品として使用させていただく場合があります。

添削講評文などでその旨お知らせしますので、その際はぜひご協力ください。

「airU マイページ」での課題提出のためのデータ作成アドバイス

●Adobe Illustrator CCで複数ページの書式を作る方法

課題で制作するシートや企画書は複数ページとなるのがほとんどです。単一ページで作成してから Acrobat DCで結合してひとつのファイルにすることも可能ですが、予めページ数が決まっている場合は以下の方法で最初から複数ページを作成して取り組むといいかもしれません。



【手順】

- ①ファイルメニューから「新規」を選択
- ②「A3」を選択
- ③用紙の方向は「横」を選択
- ④アートボードを「6」と入力
- ⑤右下の「作成」をクリック

※上記手順はA3横6ページのものを
作る場合です。サイズやページ数
は適宜変更してください。

●Adobe Illustrator CCで提出可能なファイル容量のPDFを作成する方法

airU マイページで課題提出する場合はファイル容量を20MB以下とする必要があります。Illustrator CCで、画像やイラストを大量に貼り付けて制作して通常の PDF 保存をすると20MBを超える大きなファイル容量となってしまう提出できない場合があります。そういった状況を避けるために、コースでは airU マイページでの提出用に以下の方法での PDF 保存を推奨しています。



【注意】

： [高品質印刷](変更)

- ③でチェックボックスをオフにするとプリセット名に上のように(変更)と付きますが、そのまま問題ありません。

【手順】

- ①ファイルメニューから「複製を保存」を選択
- ②Adobe PDF プリセットで[高品質印刷]を選択
- ③オプションにあるチェックボックスを全てオフにする。
- ④右下の「PDF を作成」をクリック

※より詳しい手順はコースサイト（本書p.32）「お役立ち」ページで紹介していますのでご参照ください。

11. 専門演習スクーリング科目（S）

コース専門演習スクーリング科目は、申し込み後、科目の到達目標に応じて設定されるairUマイページを活用した自宅での事前学習と2日間相当の対面授業の受講を通して取り組み、作品を完成させる科目です。一部、オンラインを使用した「遠隔授業」もあります。授業で指導・講評を受け完成した作品を自宅でブラッシュアップし課題作品集（※）にまとめておきましょう。

（※）課題作品集のまとめ方については、教材BOXもしくはairUキャンパス>コースサイト>学習支援>卒業制作に必要となる「課題作品集の作り方」参照。



履修にあたってのルール

●履修の推奨順序と前提条件

1年次配当の「空間演出デザインⅠ-1～Ⅱ-3」と2年次配当の「空間演出デザインⅢ-1～Ⅳ-3」の12科目は配当年次以外に履修の前提条件はなく、年次が到達していれば自由に受講が可能です。まず「空間演出デザインⅠ-1～3」を先に受講することが望ましく、その後、他の科目をスケジュールに合わせて受講していただくことを想定しています。

3年次配当の「空間演出デザインⅤ-1～10」は、10科目の中から受講したい科目を自由に6つ選択受講していただきますが、履修の前提条件としてスクーリング申し込み時期までにテキスト科目「空間演出デザイン基礎1」と「空間演出デザイン演習Ⅱ-1」を合格している必要があります。

また4年次配当（卒業制作）スクーリング科目では、「卒業制作1、2」は卒業制作着手要件を充足後、「卒業制作3～6」は履修の前提条件を充足後、受講が可能になります。

以上の通り、3・4年次配当のスクーリング科目は履修の前提条件があり、スクーリング申し込みまでに条件を満たしていなければ申し込みされても不許可となりますのでご注意ください。

<スクーリング科目の履修の前提条件>

1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込時期までに以下のテキスト科目を合格済みであること。 「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習Ⅱ-1」	
4年次 (卒業制作)	卒業制作 1、2	前年度末までに卒業制作着手要件を充足していること。 (詳細は本書pp.6～7参照)
	卒業制作 3～6	スクーリング申込までに「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たすこと。 (詳細は本書pp.6～7参照)

●スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では、基本的に「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも「授業放棄」と見なされ、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。

もしやむを得ない事情により一時的に欠席するような事態が発生した場合は、その旨を速やかに事務局までFAX・メールでお知らせください。

申し込みについて

●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページから申し込んでください。コース専門必修科目の先行募集においては定員を超える申し込みがあった場合でも、できる限り申込者全員を受け入れるよう手配しますので、履修計画に基づき、受講を希望する科目については先行募集での申し込みを忘れないようにしてください。

受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。

▶詳しくは『学習ガイド』pp.50～56を参照。

●追加募集申込

定員に空きがある科目はスクーリング開講日の30～5日前までairUマイページにて随時追加募集を行います。空きの無い場合は募集を行いませんので受講予定の科目は先行募集で申し込んでください。

スクーリングへ向けての準備

●事前課題

スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。事前課題はairUマイページに公開されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、指定のあるものは事前提出してください。尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、授業を受けることができません。

●持参物・使用画材

スクーリング科目を受講する際、道具や教材を持参いただきます。airUマイページの各スクーリング科目のシラバスにある「持参物」欄に以下の4項目に分けて記載していますので受講日までに確認してください。

【各自必ず持参】は自己負担で用意し、スクーリング会場に持参してください。

【各自可能な限り持参】は、なくても制作は可能ですが持参することでスムーズに制作ができる物です。

【コースで貸出】、【コースで支給】は、スクーリング当日に研究室で用意している物です。

【コースで一括購入して支給】は、サイズが大きい、または画材店で購入しにくい教材を研究室で用意し、スクーリング当日にお渡しします。スクーリング終了後に教材費として大学指定の口座より後日引き落とします。教材費は課題内容によって異なりますので、airUマイページの各スクーリング科目のシラバスを確認してください。

また、スクーリング当日は京都会場は大学構内の購買部（ADストア）、外苑キャンパスは東美（初日・土曜日のみ）が営業しています。

●ノート型PC持参のスクーリングのインストール確認と準備物

- ・PCを使用するスクーリング授業（1年次科目から）においてはノート型PCの持参が必須となります。受講前にノート型PCに授業で使用するアプリケーションソフトウェア（AutoCAD LT、SketchUp、Adobe Creative Cloud、Zoom）がインストールされており、問題なく起動することを確認してから持参するようにしてください。

※SketchUp（2年次配当科目で使用）は、9月末までの購入を推奨します。10月以降の購入の場合、入学許可証の提示に加え、在籍証明書の発行・提示などが必要となり、相当の時間がかかりますのでご注意ください。▶購入とインストールについては本書p.27を参照。

- ・PCを使用するスクーリングでは「学内LAN 利用アカウント（『学習ガイド』pp.95～97を参照）」を必ず持参してください。忘れると学内LANに接続することができません。
- ・「学内LAN利用アカウント」は入学時に全学生に発行し本学情報システム課から郵送されています。紛失時は『学習ガイド』p.95を参照のうえ再発行手続きをしてください。

スクーリング受講中および受講後

●スクーリング開講時間

開講時間は1講時80分です。ただし学外開講スクーリングなど必要に応じて時間帯を変更する場合があります。また、最終日は講評会がやむを得ず長引く場合があります。終了後すぐに出発しなければ帰宅の交通機関に間に合わない場合は担当教員にその旨を伝え、講評の順番を早めてもらってください。

I 講時	9:30 ~ 10:50
II 講時	11:00 ~ 12:20
III 講時	13:20 ~ 14:40
IV 講時	14:50 ~ 16:10
V 講時	16:20 ~ 17:40

●無線LAN接続によるインターネット利用

持参したノート型PCを使用するスクーリング授業では、個人のパソコンを大学の無線LANに接続します（有線接続はできません）。学内で無線LANに接続するときには、その都度「学内LAN利用アカウント」の入力が必要となりますので、スクーリング期間中は必ず携帯してください。

学内の無線LAN利用にあたっては、まずスクーリング初日に個人パソコンに Wi-Fi 接続設定を行っていただきます。接続方法の手順は『学習ガイド』pp.95~97を参照してください。

コースサイトの「お役立ち」ページにもコース独自で作成した「学内無線LAN接続ガイド」と「授業共有フォルダ接続ガイド」のPDFデータをアップロードしていますのでご参照ください。

●スクーリングで制作した作品のふりかえりについて

作品データを保存しておくことは、課題作品集（※）を作成するうえで、重要な材料の一つとなります。スクーリングで制作した作品（図面、模型、立体、データなど）は、基本は皆さんに持ち帰っていただきますので、図面、模型などは持ち帰り用の袋を用意することをお勧めします。すぐに廃棄せずできるだけ保存をしておいてください。おおよその作品サイズはairUマイページの各スクーリング科目シラバスの「最終成果物」欄に記載していますので参考にしてください。ただし、サイズが大きい立体作品でそのままの保存が難しい場合は、デジタルカメラで撮影し保管しておいてください。研究室で撮影したデータの提供は行いません。

（※）課題作品集については教材BOXもしくはairUキャンパス>コースサイト>学習支援>卒業制作に必要な「課題作品集の作り方」参照。

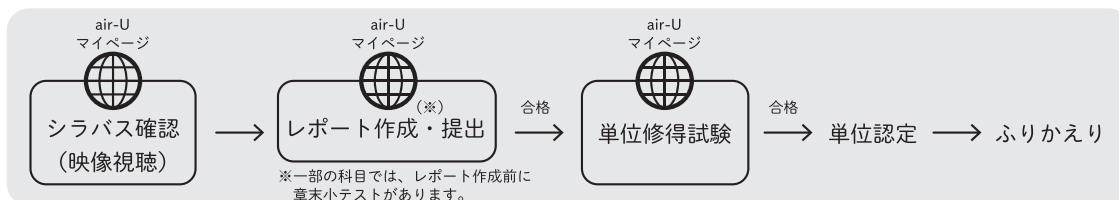
●スクーリング授業風景や作品撮影およびその取り扱い

スクーリング中に大学が撮影した授業風景や作品写真はairUマイページの授業紹介や参考作品として使用させていただくことがあります。差し支えのある場合は撮影時に直接担当教員まで申し出てください。また学生間で互いの作品等を撮影する場合は必ず制作者本人の了承を得るように注意してください。

12. 学部共通専門教育科目（TR） ※必修科目

学部共通専門教育科目（TR）は自宅でレポートを作成して合格した後、単位修得試験を受験する科目です。本書pp.10～11「履修条件図」に掲載されている学部共通専門教育科目（必修科目、二級建築士資格指定科目）はすべてairUマイページ（Web）上での履修となります。

自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、テキストや参考文献、提供される教材をもとに学習しレポートを完成させます。完成したレポートはairUマイページを使ってデータ提出し、教員の添削指導を受けます。合格後、airUマイページで単位修得試験を指定の期日内に受験し合格すれば単位認定となります。



履修にあたってのルール

●履修順序

必修科目の学部共通専門教育科目では特に履修の順序はありませんが、卒業制作に取り組む前年度末までに満たすべき「卒業制作着手要件」に「マーケティング概論」「ブランディングデザイン論」「生活空間デザイン史」「インテリア計画論1」が含まれていますので、留意して履修計画をたててください。

●提出の受付と返却の目安

・TR科目の提出

4月、7月、10月、1月の21日～30日 13：00まで（本書p.4参照）

・airUマイページは当日13：00大学サーバー着信分まで

・返却は提出月度の翌月下旬（20日～28日前後）をめぐに行います。

・提出締切日が日・祝の場合、締切日はその翌日となります。（例）30日（日）→31日（月）

各提出期間の締切後に到着したものは、次の提出期間に受け付けます。注意してください。

●単位修得試験

TR科目はレポート合格後、単位修得試験に合格しなければ単位認定されません。忘れず指定期間内に受験してください。Web試験は事前申込不要です。

▶airUマイページでの単位修得試験は『学習ガイド』pp.40～41参照。

●airU学習ガイドをよく確認してください

提出にあたっての注意事項はairU学習ガイド>2.履修・学習>「テキスト科目（TR）」をよく確認するようにしてください。また、『学習ガイド』pp.182～185「論文・レポートを書くために」でレポート書き方のルールが説明されていますので、こちらも参照してください。

その他

●二級建築士資格指定科目は自由選択科目です

二級建築士受験資格と免許登録資格とともに卒業と同時に取得しようとする方は指定科目10単位（5科目）を、二級建築士受験資格のみを卒業と同時に取得しようとする方は指定科目6単位（3科目）をそれぞれ卒業までに合格する必要があります。（▶本書p.30参照）

●ただし、自由選択科目となりますので、合格しなくてもその他の卒業要件を満たした場合は自動的に卒業となり受験資格及び免許登録資格が得られなくなる場合がありますので、計画的に受講し、早期の合格を目指していただくことが望ましいです。

13. パソコンとソフトウェア

空間演出デザインコースでは、スクーリングへの持参や自宅学習に必要なノート型パソコンと、使用するソフトウェアを準備する必要があります。以下にパソコンや使用するソフトウェアの条件、それらの購入・入手について案内します。ノート型パソコンの持参必須のスクーリング科目では以下の条件を参考に、授業で使用するソフトウェアがインストールされており、起動することを確認してから持参してください。新入生については、新入生ガイダンスで詳しく説明しますので出席してからの購入で構いません。2014年度以前入学生でノート型パソコンをお持ちでない方は事前に事務局までお問い合わせください。

パソコンの機種、OS、スペック

【Macintoshシリーズの場合】

〔機種〕 ノート型Mac (Macbook Pro、Macbook Air、Macbook)

〔OS〕 Mac OS X 10.12以降

【Windows搭載パソコンの場合】

〔機種〕 問わず

〔OS〕 Windows10以降、64ビットのみ

※いずれの場合も、OSやメモリなどの必要スペックについては、インストールするソフトウェア (Adobe Creative CloudとAutoCAD LT、SketchUp) の動作環境に準拠するものを選んでください。

※Macintoshシリーズ、Windows搭載パソコンのいずれも、外付けのWebカメラを準備するかWebカメラ搭載の機種を選んでください。

使用するソフトウェア

ノート型パソコン持ち込みが必須のスクーリングでは以下のソフトウェアがインストールされたノート型パソコンを持参いただく必要があります。

- ・ Adobe Creative Cloud (Illustrator CC・Photoshop CC・Acrobat DC・Premiere Pro CC)
- ・ AutoCAD LT2021もしくはAutoCAD LT2021 for Mac
- ・ SketchUp (2年次科目から使用)

※Adobe Creative Cloudは無償体験版 (期限付き) がありますが、製品版をインストールする前に無償体験版をインストールすることはおすすめておりません。製品版インストール後、ご自身の環境設定によっては体験版から切り替える際に解決が困難な場合もありますので、初心者の方は特にご注意ください。

※SketchUp (2年次配当科目で使用) は、9月末までの購入を推奨します。10月以降の購入の場合、入学許可証の提示に加え、在籍証明書の発行・提示などが必要となり、相当の時間がかかりますのでご注意ください。

<該当スクーリング科目と使用するソフトウェア>

●：必須 △：推奨

スクーリング科目名	Adobe Creative Cloud	AutoCAD LT	SketchUp
空間演出デザインⅠ-1 (デザインリテラシー)	●	●	
空間演出デザインⅡ-1 (デジタル表現基礎)	●		
空間演出デザインⅡ-1E (デジタル表現基礎)	●		
空間演出デザインⅡ-2 (造形表現基礎)	●		
空間演出デザインⅡ-3 (CAD 表現基礎 2D)	△	●	
空間演出デザインⅢ-1E (空間表現・エスキス)			
空間演出デザインⅢ-2E (空間構想・デザインプロセス)			
空間演出デザインⅣ-1 (メディア表現と空間演出)	●		
空間演出デザインⅣ-2 (素材表現とデザイン)	●		
空間演出デザインⅣ-3 (CAD 表現基礎 3D)	●	△	●
空間演出デザインⅤ-1 (すまいの空間構想)			
空間演出デザインⅤ-5 (デザインマネジメント)	△		
空間演出デザインⅤ-6 (空間体験のデザイン)	△		
卒業制作 [遠隔授業]			

空間演出デザインⅠ-1～3およびⅡ-1～3は遠隔授業の選択が可能です。なお、遠隔授業の受講やオフィスアワー等に参加するためには、オンライン会議ソフトウェア「Zoom」が必要となります。

パソコンの購入

準備いただく必要があるノート型パソコンには、Apple社のMacintoshシリーズのパソコンとMicrosoft社のWindows搭載パソコン（メーカーは多岐に渡る）の大きく2種類の選択肢があります。いずれを使用していただいても構いません。

以下にそれぞれの購入方法を記しますので参考にしてください。なお、使用するソフトウェアの動作環境に準拠したメモリやハードディスク容量のスペックとしてください。（メモリは8GB以上、ハードディスクは256GB以上を推奨します。）

【Macintoshシリーズの場合】

「Apple Storeオンライン」の「学生・教職員向けストア」から学生・教職員価格で購入することができます。Macbook Pro、Macbook Air、Macbookのいずれを選んでも使用ソフトウェアの動作環境は満たされます。

【Windows搭載パソコンの場合】

64ビットのみ。家電量販店やメーカーホームページから自由に購入いただくことになります。

※スクーリングではソフトウェアのセットアップや使用法についての指導に限定しますので、パソコンの基本的な操作については各自で習得しておいてください。

ソフトウェアの購入とインストール

スクーリングや自宅学習で使用するソフトウェアは、p.26に記載したとおりです。それぞれの購入方法について以下に記します。

【AutoCAD LT2021のインストール】

airUマイページにログインし、教材BOXもしくはカリキュラム一覧（シラバス）>スクーリング科目「空間演出デザインI-1（デザインリテラシー）」の事前課題に掲載されている「AutoCAD LT インストールマニュアル」の手順に従い、ご自身のPC環境に合わせてインストールしてください。使用するバージョンはAutoCAD LT 2021もしくはAutoCAD LT 2021 for Macとなります。インストールの際は、インターネットに接続されている必要があります。在学中はソフトウェアは無料で使用することができます。

【SketchUpの購入とインストール】

airUマイページにログインし、教材BOXもしくはカリキュラム一覧（シラバス）>スクーリング科目「空間演出デザインIV-3（CAD表現基礎3D）」の事前課題に掲載されている「購入とインストールマニュアル」の手順に従って教育用ライセンスの購入とインストールをしてください。9月末までの購入を推奨します。10月以降の購入の場合、入学許可証の提示に加え、在籍証明書の発行・提示などが必要となり、相当の時間がかかりますのでご注意ください。

【Adobe Creative Cloudの購入とインストール】

airUマイページにログインするとトップページに表示される学生・教職員向け学内販売サイト「Academico Navi（アカデミコナビ）」へアクセスして該当ソフトウェア「Adobe Creative Cloud（学生・教職員向け個人版 12ヶ月）」を購入してください（Adobe直販サイトで、初年度のみ限定価格での提供が行われていますのでこちらもご確認ください。更新購入は、「Academico Navi（アカデミコナビ）」、Adobe直販サイトともに同金額です。）。こちらも1年間の使用が可能です。Academico NaviのIDとPASSはどちらも「kyoto-art」です。

【Zoomのインストール】

airUマイページにログインし、教材BOXもしくはカリキュラム一覧（シラバス）>スクーリング科目「空間演出デザインI-1（デザインリテラシー）」の事前課題に掲載されている「Zoomインストールマニュアル」の手順に従い、ご自身のPC環境に合わせてインストールしてください。インストールの際は、インターネットに接続されている必要があります。こちらのソフトウェアは無料で使用することができます。

※パソコン持参を義務付けられているスクーリングを受講する際は、指定されたソフトウェアがインストールされており、起動することを確認してから持参してください。

【Vectorworks学生単年度版】

コース指定のソフトウェアではありませんがCADソフトの「Vectorwoks 学生単年度版」（20,000円/税抜/2020年度実績）の購入が可能です。購入を希望する方は、airU学習ガイド>4.Web利用>「特別価格で購入できるソフトウェア」を参照してください。

14. 制作に必要な道具

テキスト科目、スクーリング科目の「準備するもの」、「持参物・使用材料」欄に「製図道具一式」、「模型制作道具一式」と記載されている場合は、以下の表と次頁の写真を参考に用意してください。

製図道具一式

番号	道具名	用途、コメント
①	ドラフティングテープ	図面用紙や模型の仮留めに使用
②	セクションパッド（方眼紙5mm程度、A4サイズ）	特に図面を用いた構想に使用
③	色鉛筆（12色）	図面やスケッチの彩色に使用、12色以上あっても便利
④	字消板	細かな部分を消す際に使用
⑤	デザイン・製図用ペン（0.1、0.3、0.5、0.7程度）	ペン先を使い分け、図面やスケッチの最終仕上げなどに使用
⑥	製図用シャープペンシル（0.3、0.5、0.7、0.9程度）	ペン先を使い分け、図面やスケッチに使用
⑦	消しゴム	図面やスケッチを消す際に使用、製図用は少し硬め
⑧	勾配定規（20cm型）	任意の角度の直線を描く際に使用
⑨	三角スケール（30cm・副尺付）	縮尺を変換する際に使用
⑩	三角スケール（15cm・建築士用）	〃
⑪	テンプレート（円定規）	円を描く際に使用 ※ステッドラー社を推奨
⑫	テンプレート（数字定規）	数字を描く際に使用
⑬	コンパス	円や曲線を描く際に使用
⑭	製図用ブラシ（小）	図面の清掃をする際に使用
⑮	三角定規30度、45度（30cm）	垂直線を描く際などに使用

模型制作道具一式

⑯	スチのり（小）	スチレンボード、発泡スチロールの接着に使用
⑰	両面テープ	模型材料を接着する際に補助用として使用
⑱	スコヤ（L型定規、15cm）	模型材料を直角に切断する際に使用
⑲	ステンレス定規（30cm）	カッターを使用して直線に切断する際に使用（各サイズ必要）
⑳	ステンレス定規（15cm）	
㉑	カッター替刃（小）30度刃	カッターの刃を交換する際に使用
㉒	刃折器	折った刃を安全に捨てる際に使用
㉓	カッター（小）30度刃	薄い模型材料を切断する際に使用
㉔	カッター（大）	厚い模型材料を切断する際に使用
㉕	ピンセット	細かい部材を接着する際に使用
㉖	木工用ボンド速乾（小）	紙、木材の接着に使用

大学で貸し出す製図道具

㉗	ベニヤ製図板（A2サイズ）	手描き製図に使用
㉘	T定規（60cm）	〃
㉙	ステンレス定規（60cm）	カッターを使用して直線に切断する際に使用
㉚	カッティングマット（A2サイズ）	カッターを使用して切断する際に使用

参考

㉛	平行定規（A2サイズ）	手描き製図に使用、ベニヤ製図板+T定規の組み合わせよりも合理的
㉜	スケッチブック（ハガキサイズ）	いつも携行しスケッチやアイデアを書きとめる際に使用、芸大生の必需品
㉝	スケッチブック	スケッチやアイデアを書きとめる際に使用、芸大生の必需品
㉞	コンベックス（巻尺）	どこでも寸法を測る際に使用、空大生の必需品

- ・既に似たような道具を持っている場合は、スクーリング当日に持参し、担当教員に相談してから必要であれば購入するとよいでしょう。
- ・⑱スコヤ（L型定規）は、「さしがね」と呼ばれる道具と形状が似ていますが異なる道具です。画材店やホームセンター等で購入する際は、お店に確認してから購入するとよいでしょう。

●教材購入案内

道具・教材類は一般的な文具店や画材店で購入できます。お近くに適当な販売店が見つからない場合は下記の通信販売をご利用ください。いずれの画材店も本学通信教育部用Webサイトがあり、airUキャンパスのトップページ最下部のバナーからアクセスできます。

〔京都〕ADストア（大学購買部） <http://www.adstore-kua.co.jp/>

〔東京〕東美 上野駅前店 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>（予約注文・外苑キャンパス受け取り）

〔東京〕レモン画翠（画材店） <http://www.lemon.co.jp/student/>



製図道具



模型制作用道具



製図板、T定規、カッティングマット、ステンレス定規



平行定規（参考）



スケッチブック（参考）



コンベックス（メジャー）

airUマイページ→教材BOXでも道具の紹介・解説をしています。あわせて参照してください。

- ・製図道具一式
- ・模型制作用道具一式

15. 資格取得

空間演出デザインコースでは以下の資格を取得することができます。資格の取得については『学習ガイド』pp.135～136も参照してください。

●二級建築士受験資格及び免許登録資格について

住宅建築などの一定規模以下の木造建築物、および鉄筋コンクリート造などの建築物の設計、工事監理に従事する建築の専門家としての国家資格です。

▶詳細は「建築技術教育普及センター」のWebサイト（www.jaeic.or.jp）を参照してください。

<二級建築士試験受験資格及び免許登録資格取得のために単位修得が必要な科目>

空間演出デザインコースに所属する学生が、コース専門演習科目以外に二級建築士受験資格及び免許登録資格取得のために、卒業要件以外に卒業までに単位修得が必要な科目は下表の通りです。

科目区分	本学開講授業科目名	ST区分	単位数	受験資格と免許登録資格 ともに取得するための必修区分	受験資格のみを取得するための 必修区分（注）
学部共通専門教育科目	構造力学1	TR	2	必修	いずれか選択必修
	構造力学2	TR	2		
	建築法規	TR	2		必修
	建築生産	TR	2		
	建築環境工学	TR	2	いずれか選択必修	任意
	建築設備	TR	2		
	必修単位数合計			10単位	6単位以上

（注）受験資格のみ取得の場合、免許登録するには1年間の実務経験が必要となります。

これにより、1年次入学の場合は卒業要件の124単位内、2年次編入学の場合は卒業要件の84単位内に資格取得に必要な単位数を含めれば良いですが、3年次編入学の場合、卒業に必要な単位数は、受験資格と免許登録資格ともに取得する場合は70単位以上、受験資格のみを取得する場合は66単位以上となります。

<注意点>

※TR科目の課題提出回数は限られているため、資格取得を目指される方は、早期受講を心がけましょう。

※受験時、大学発行の「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を提出し、受験資格審査があります。

※建築士試験受験の際にシラバスの提出を求められる場合がありますので、シラバスは保管しておいてください。

・二級建築士資格取得希望者のみ必修の科目です。資格取得を希望されない場合は、履修の必要はありません。

※2009年度以前の入学生が再入学された場合は対象となりません。

●商業施設士受験資格

商業施設・街づくりの構成・企画等を行う公的資格です。商業施設のイメージや空間構成をはじめ、施設内のデザインやディスプレイ設計、それらの工事監理までを行う専門家としての資格です。

本コースでは、卒業制作着手の年度に1日の講習会（*）を受けることで、卒業時に商業施設士補資格を取得できます。卒業後は学科試験および実務経験が免除され、すぐに商業施設士の受験が可能です。

*講習会については卒業制作着手者の方を対象に12月ごろに研究室より案内します。

●インテリアプランナー課程認定（登録までの実務経験が0年に短縮）

オフィス、公共・商業施設、住宅などの分野でインテリアの企画設計から工事監理までを行う知識や技能を認められた専門家としての資格です。本コースでは2010年度より課程認定を受けているため、インテリアプランナー登録要件の実務経験が免除されます。

▶詳細は「建築技術教育普及センター」のWebサイト（www.jaeic.or.jp）を参照してください。

16. 学習支援情報

空間演出デザインコースでは以下のような学習支援イベントを開催し、スクーリング以外にも教員と対面での学習相談や学生間交流ができる機会を設けています。具体的な日程や開催時刻等はairUキャンパス>コースサイトもしくは通信教育部補助教材『雲母』に随時掲載します。空間演出デザインコースの方なら誰でも参加可能ですのでぜひ有効活用してください。

また、airUキャンパスのコースサイトにて様々な情報を発信していますので定期的に確認してください。

学習相談・履修相談に関わるもの

●空デオープンゼミ（4月～2月までの毎月開催）

学習期間中に月に1度、京都と東京で開催される教員との対面での学習相談会です。京都は人間館1Fのカフェ「BREATH KUA」、東京は外苑キャンパスエントランスロビーで各回2時間開催します。

申込方法：airUコンシェルジュ

件名に「空デオープンゼミ申込（参加希望日程、会場）」と明記の上、開催5日前までに申し込みをしてください。例）空デオープンゼミ（1/20京都）

●空デオフィスアワー（オンライン開催4月～2月までの毎月開催）

Zoomを使用した、教員による学習相談会です。事前（開催の約3週間前）にコースサイトの「お知らせ」に、日時、ZoomミーティングIDを告知しますので、ご希望の時間にアクセスください。

●スクーリング訪問（不定期開催）と「空デまなびのしおり」を使った履修相談

スクーリング開催教室へ休み時間に研究室スタッフが訪問、「空デまなびのしおり」を回収して履修状況のチェックやアドバイスをを行います。「空デまなびのしおり」は研究室から配布しているもので、学習目標や履修状況のチェックシートです。スクーリング受講の際は必ず持参するようにしてください。手元に無い場合は研究室スタッフまで申し出てください。コースサイトの「ダウンロード」ページにあるPDFデータを出力しても構いません。

●卒業制作ガイダンス（3月開催）

次年度の卒業制作着手予定の方へ向け、卒業へ到達するための履修指導を行います。

●卒業制作中間審査・最終審査の聴講（中間審査11月、最終審査1月開催）

卒業制作の中間審査・最終審査のプレゼンテーションを聴講可能です。事前申込不要ですが、開始時間までに審査教室へ入室ください。

●学習に関する質問

メールやairUマイページ>コンシェルジュにて随時受け付けています。▶質問方法は『学習ガイド』裏表紙を参照。

リクリエーション・学生間交流

●空デ秋のエクスカーション（10～11月に開催予定）

学外での学びと入学年度を越えた学生どうしの交流を促すため、フィールドワークや文化財施設（美術館、記念館など）の見学を行います。事前申込必要。

●学習会

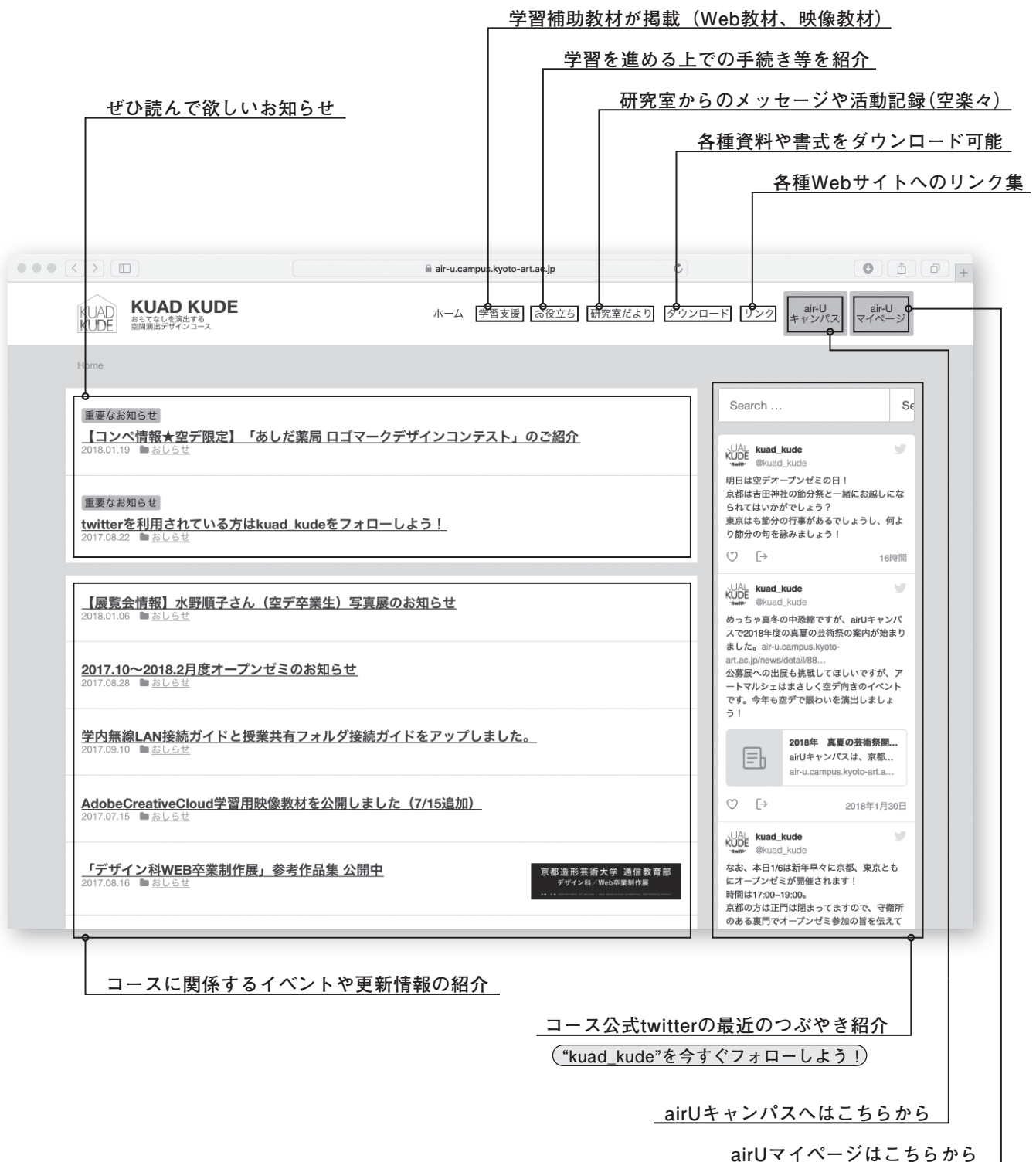
大学公認のオフィシャルコミュニティとして、学生主体のコミュニティが発足しています。各種学習イベントを開催されていますので、詳細はairUキャンパスの「オフィシャルコミュニティ」を参照してください。

airU キャンパス「コースサイト」について（2019年度時点の構成。変更となる場合があります）

●空デ「コースサイト」を活用しましょう

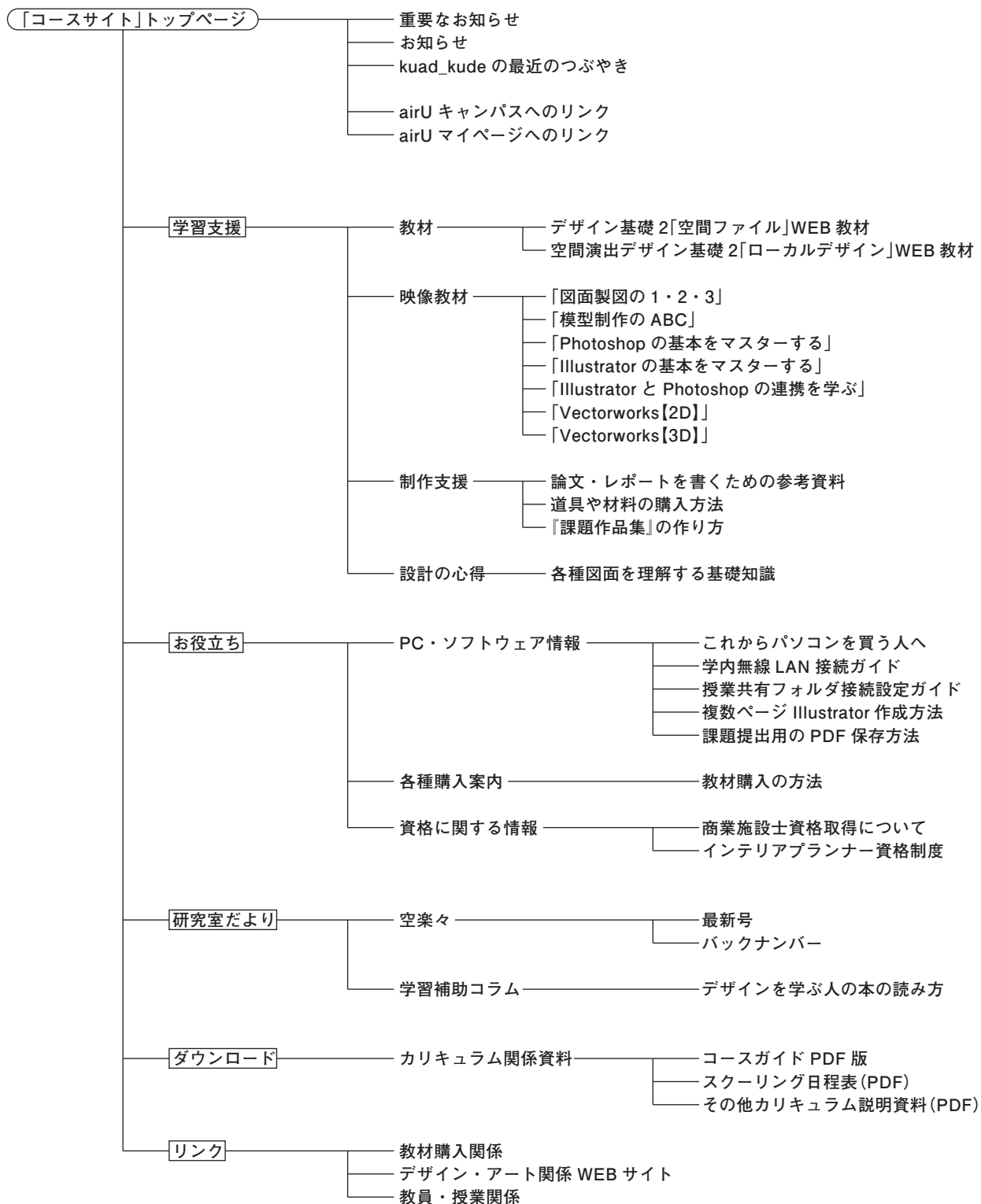
airUキャンパスの中にある空間演出デザインコースの学習支援情報提供のためのWebサイトを「コースサイト」と呼びます。コースサイトでは研究室主催のイベント情報や映像やPDF形式の補助教材など、学習に役立つ様々な情報を掲載しています。本書やairUマイページのシラバスにてコースサイトを参照するよう指示していることがありますので、airUキャンパスからアクセスしてご自身のブラウザのお気に入りやブックマークに追加しておきましょう。情報は随時追加更新されていますので、定期的にアクセスすることをおすすめします。以下にコースサイトのトップページの内容を図解します。

●空デ「コースサイト」トップページの解説



●空デ「コースサイト」の中身（サイトマップ）

コースサイトの中身は以下のサイトマップの通りです。なお、随時更新していきますので、変更や追加があった場合はトップページでお知らせします。



※コースサイトはスマホ表示にも最適化されています！

